

## 平成 30 年度第 1 回愛媛県宇摩構想区域地域医療構想調整会議の開催結果

- 1 会議の名称 平成 30 年度第 1 回愛媛県宇摩構想区域地域医療構想調整会議
- 2 開催日時 平成 30 年 8 月 28 日（火曜日）午後 7 時から午後 8 時 30 分まで
- 3 開催場所 四国中央市保健センター 1 階 集団指導検診室
- 4 出席者 委員 12 名、随行者 4 名、事務局 4 名（合計 20 名）
- 5 議 事

### （1）議長の選出について[公開]

前任者の退任により、議長の選出を行った。

議長：宇摩医師会 高木委員

### （2）宇摩構想区域地域医療構想に対する現状の把握等について[公開]

病床機能の分化を推進するうえで現状把握の指標となる平成 29 年度病床機能報告結果について事務局から説明し、宇摩構想区域の 2025 年必要病床数に対し、平成 29 年 7 月 1 日時点での報告数は「急性期」「慢性期」が過剰、「高度急性期」「回復期」が不足している傾向があるが、6 年後時点での予定報告数は必要病床数に近づいていくことを確認した。

### （3）地域医療介護総合確保基金の活用について[公開]

平成 30 年度地域医療介護総合確保基金（医療分）事業として、要望のあった 9 事業の内容について審議し、優先順位を付けた。

《委員》病床数の調整はさらに進んでいるということで理解してよいか。

⇒《事務局》病床の分化に取り組んで、2025 年必要病床数に近づきつつあると言える。

《委員》議事（2）に係る内容について基金の要望が提出されるのか。

⇒《事務局》地域で不足している医療を整備すること（役割分担が進む。在宅医療の充実につながる。）を目的にしている要望もある。

### （4）地域医療構想調整会議の進め方について[公開]

「地域医療構想の進め方」（平成 30 年 2 月 7 日付医政地発 0207 第 1 号）、「地域医療構想調整会議の活性化に向けた方策について」（平成 30 年 6 月 22 日付医政地発 0622 第 2 号）に基づき、各医療機関の具体的対応方針（2025 年を見据えた構想区域において担う医療機関としての役割、2025 年に持つべき医療機能ごとの病床数）について合意・決定するための進め方について事務局から説明を行った。

### （5）平成 30 年度地域包括ケアワーキンググループ開催結果について[公開]

地域包括ケアシステムの構築、在宅医療の充実に向けた関係機関の取組みの現状について一覧表を作成することで見える化を図り、市や医師会が抽出した在宅医療に係る課題について、地域医療構想と連動するよう宇摩構想区域の施策の方向に沿って抽出を行い、地域で取り組むべき課題を整理した。

(6) 宇摩構想区域地域医療構想に対する各医療機関の取組みについて[非公開]